

# Bio Trend Play Analysis

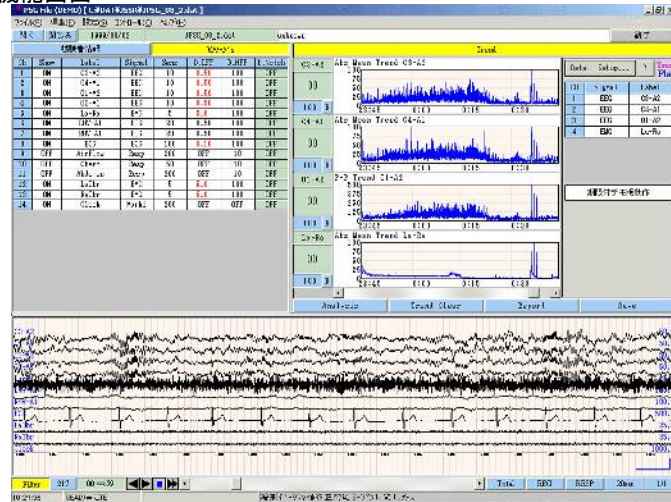


バイオトレンド再生解析プログラム (Bio Trend Play) は、判読リーダー (Bio Signal Viewer, AP-Viewer) にアドインして PSG フォーマットで収録保存されたデータを読み出し振幅情報 (平均、絶対値平均、P-P 値、最小値、最大値) を計測し、トレンド表示とレポート出力を行うプログラムです。結果は、レポート印刷及び CSV 形式のテキストファイルに保存して、他のアプリケーションで解析結果を扱うことができます。

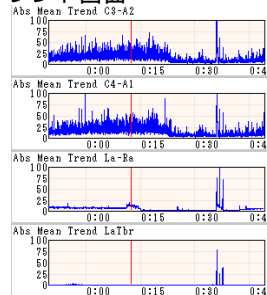
## 特徴

- Bio Signal Viewer, AP-Viewer のオプションソフトとして機能します。
- 最大 8 チャンネル、最大 24 時間まで解析・トレンド表示が可能です。
- 任意解析区間内のパラメータ (平均、絶対値平均、最大値、最小値、最大-最小) を計測します。
- 基準値を設定することで、相対値トレンドが可能です。
- トレンド内のカーソル指定点の値及び区間内の平均値計測を表示可能です。
- 波形表示と連動動作が可能です。
- レポート印刷が可能です。
- トレンド結果を CSV 形式ファイルで保存が可能です。
- グラフイメージをマタファイル形式でクリップボードへコピーできます。

## 機能画面



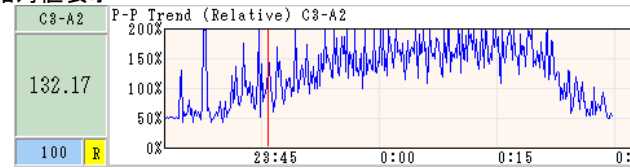
## トレンド画面



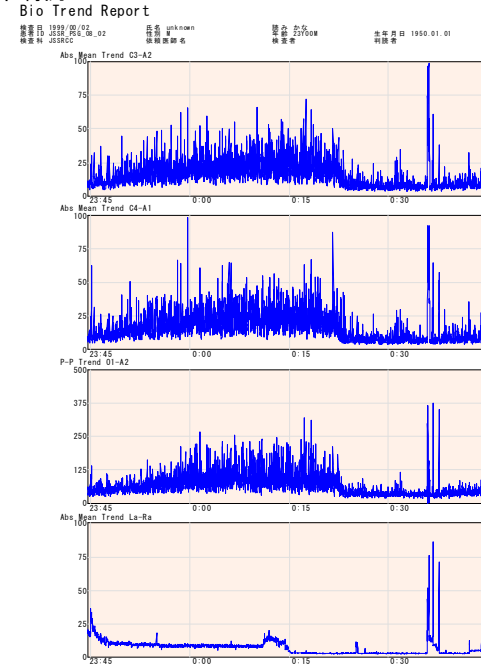
## カーソル値表示

C3-A2	132.17
C4-A1	12.8
C4-A1 P	100 R
C4-A1	12.0
C4-A1	100 R
C4-A1	12.3
C4-A1	100 R
C4-A1	1.4
C4-A1	100 R

## 相対値表示



## レポート印刷例



## 仕様

- 解析チャンネル数 最大 8 チャンネル
- 解析トレンド時間 最大 24 時間、解析区間単位 0.2 秒～60 秒
- 解析パラメータ 平均値、絶対値平均値、最大値、最小値、最大-最小値
- 相対値機能 任意の相対値を設定することで可能
- フィルター処理 LFF, HFF をチャンネル単位で処理可能
- トレンド表示 解析パラメータのトレンド表示 任意表示区間可能
- 波形表示との連動 可能
- レポート印刷 可能
- ファイル出力 トレンドデータの CSV 形式保存
- クリップボードコピー トレンドイメージ、トレンドデータのテキスト形式でクリップボードへコピー

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

## 動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium 相当以上
- メモリ 2GB 以上 (推奨 4GB 以上), ハードディスクの残り容量 10GB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows7, Windows8, Windows10, WindowsXp (日本語環境)